

お買い物サポート・ 便利帳を作成

～地域の声を聴きながら～



円山地区社協では、地区内の買物について、何らかの支援を行っているお店や、バス・乗合タクシーなど移動に関する情報をまとめた「お買い物サポート・便利帳」を作成しました。

円山地区には、近所に生鮮食品等を取り扱うお店がない地域があり、免許を返納したり、足が悪くなって買物の荷物が重いなど、これからの買物物に不安を持っているお年寄りがいます。これらの現状把握のために「買い物環境アンケート」を実施しました。

このアンケートは、福祉委員が令和3年8月に敬老事業の記念品配布にあわせて、地区内の75歳以上の方（ひとり暮らし・高齢者のみの世帯を民生児童委員が抽出）に配布と回収を行いました。アンケートの結果から、日々の生活に直結する買物に関する困りごとを感じるお年寄りが多くいる現状が分かってきました。

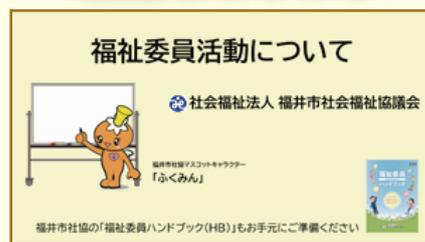
また、この取り組みによってアンケートによる情報収集にとどまらず、福祉委員がお年寄りと顔をあわせる機会となり、言葉を交わすことで暮らしぶりをより深く知るきっかけにもなりました。

その後、地区内の店舗によるお買物支援、宅配等の実施状況についての聞き取り調査の結果と、バ

スや乗り合いタクシーなど移動に関する情報をあわせて冊子にまとめました。この冊子は、今後の福祉委員による見守り活動などを通して、地区のお年寄りに配布していく予定です。

作成に取り組んだ円山地区社協や福祉委員の方は、「今回作成した

令和4年4月1日に 福祉委員が 改選となります



令和4年4月1日付で、福祉委員が一斉改選となります。福祉委員は自治会を単位に市内で約1,600名を委嘱し、お住まいの自治会でひとり暮らし高齢者をはじめとする様々な困りごとを抱えた方へのあいさつや声かけなど、日常的な見守りをお願いしています。また、研修会への参加や各地区社協が取り組む活動へのご協力もいただいています。

冊子を配るだけでなく、冊子にまとめた情報の活かし方や、サービスの使い方も伝えていきたい。お年寄りとのつながりや、訪問した際のコミュニケーションのきっかけとなるようなものになりたい」と、今後の活用について話しています。

今回の任期は令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間で、各地区社協会長と福井市社協会長の連名での委嘱となります。

令和4年度は、地区社協連絡協議会と市社協の共催で福祉委員スキルアップ研修会の開催を予定している他、新しい取り組みとして福祉委員活動を紹介する動画を作成します。記載のQRコードから動画の公開ページ（市社協のYouTubeチャンネル）にアクセスできますので、ぜひご覧ください。

近隣住民の「見守り」や「支え合い」による普段からの地域福祉活動を推進していくため、福祉委員の活動へのご理解とご協力を引き続きよろしくお願いします。

